

| | | | | | | |
|-------------------|--|---|-----------------------------|-----------------|-----|-----------------|
| 授業科目名 | 【Gカリキュラム】特殊講義(地域研究II) (本年度開講せず) 【EFカリキュラム】特殊講義(地域研究II) | 選 択 | 開講年次 | 【G】 - 【EF】 1 | 単位数 | 【G】 - 【EF】 2 |
| 科目区分 | 専門科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (- - - - -) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・地歴・ - - -) | | | | | |
| 担当形態 | 単 独 | 【G】教員の免許状取得のための (-・地歴選択・ - - -) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・地歴選択・ - - -) 科目 | | | | |
| 施行規則に定める科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項: 「地誌」 (高一種免地歴) | | | | | |
| サブタイトル | 環大西洋革命 | | 担当者 | 早川 理穂 | | |
| 授業概要 | <p>【概要】 18世紀後半から19世紀前半にかけて、大西洋を取り巻くアメリカ、フランス、南アメリカなどの地域で次々に革命が起こった。その背景には産業革命の影響と、諸地域が近代世界システムとして経済的に統合されていたことがある。本講義ではそれ以前のイギリスの革命から出発し、環大西洋革命に見られるヨーロッパとアメリカ大陸相互の影響や変化について概説する。</p> <p>【到達目標】 大西洋をはさんだヨーロッパとアメリカ大陸相互の影響や変化について近代世界システムや思想の面から理解する。</p> | | | | | |
| 履修条件 | 特になし | | | | | |
| 他科目との関連性 | 特になし | | | | | |
| 教科書・参考書 | <p>【教科書】 使用しない</p> <p>【参考書】 岩井淳『ピューリタン革命と複合国家』2010年、長谷川貴彦『産業革命』2012年、高橋均『ラテンアメリカの独立』1998年 (全て世界史リブレット 山川出版社)</p> | | | | | |
| 授業回数 | 授 業 内 容 | | | | | |
| 1 | ガイダンス、環大西洋地域の概観 予習:世界地図で大西洋をとりまく国々を確認しておく。 | | 復習:それぞれの国の地理的特徴について調べる。 | | | |
| 2 | ピューリタン革命 予習:ピューリタン革命の概要を調べる。 | | 復習:ピューリタン革命について整理し、理解する。 | | | |
| 3 | 名誉革命 予習:名誉革命の概要を調べる。 | | 復習:名誉革命の全体像を把握する。 | | | |
| 4 | 産業革命 予習:産業革命期の技術革新について調べる。 | | 復習:産業革命のもたらした社会の変化についてまとめる。 | | | |
| 5 | アメリカ植民地の特徴 予習:植民地時代のアメリカについて地図で確認しておく。 | | 復習:アメリカとイギリスの結びつきについて整理する。 | | | |
| 6 | アメリカ独立革命 予習:アメリカ独立宣言を読んでおく。 | | 復習:アメリカ独立革命についてまとめる。 | | | |
| 7 | 啓蒙思想 予習:啓蒙思想家とその著作について調べる。 | | 復習:啓蒙思想の特徴を整理しておく。 | | | |
| 8 | フランス革命 予習:人権宣言の内容を調べておく。 | | 復習:フランスと植民地の関係についてまとめる。 | | | |
| 9 | ハイチ革命 予習:ハイチ共和国の地理や経済について調べる。 | | 復習:ハイチ革命とフランス革命の関係についてまとめる。 | | | |
| 10 | スペイン植民地について 予習:スペインの南アメリカにおける植民地について調べる。 | | 復習:スペインの植民地政策についてまとめる。 | | | |
| 11 | 南アメリカの革命 予習:各スペイン植民地の独立年について調べる。 | | 復習:革命後の南アメリカ諸国について整理する。 | | | |
| 12 | 環大西洋革命の全体像 予習:それぞれの革命の結びつきについて整理しておく。 | | 復習:環大西洋革命のもたらした変化について理解する。 | | | |
| 13 | 日本への影響 予習:明治維新、自由民権運動について調べる。 | | 復習:環大西洋革命の日本への影響についてまとめる。 | | | |
| 14 | 他地域への影響 予習:ポーランドやアイルランドについて調べる。 | | 復習:他地域への環大西洋革命の影響についてまとめる。 | | | |
| 15 | 総括 予習:総括 | | 復習:試験について | | | |
| 評価方法 | 平常点(授業態度、授業への積極的参加)20%、試験80% ただし、履修者人数によっては評価方法を変更する場合もある。第1回目の授業に参加し、確認をすること。 | | | | | |
| 評価基準 | 授業への積極的取り組み(授業内での積極的発言、授業態度、予習・復習への取り組み)を行い、授業内容をよく理解した者は「A」、以下、到達度に応じて「B」、「C」とする。到達度が著しく低い場合は「D」、「E」とする。 | | | | | |
| その他 | ※G別:法【-】社【-】情【-】 / EF別:法【-】社【-】経【-】 | | | | | |